

令和2年度 若草幼稚園学校関係者評価

若草幼稚園の令和2年度学校関係者評価は、以下の通りである。

1 アンケート調査について

PTA 役員を中心について、以下の点について自由記述式のアンケート調査を行った。内容およびそれについて頂いた意見を以下に要約する。

(1) あいさつ・対応

社会人としての基本である挨拶から始まり、保護者の方への対応が、丁寧であるかどうか、的確であるかどうかについて。

どの先生も、丁寧に笑顔で挨拶ができる。電話対応について、名前を聞き間違えたり、待たせすぎることなどがあり、社会人のマナーとして身に着けるべき課題があった。

(2) 子ども理解

一人一人の個性をよく捉えられているかどうか、また、納得できる語り方、書き方ができているかどうかについて。

一人一人の気持ちを大事にしてくれている。クラスだよりや連絡帳を通して、子どもの様子がよくわかる。

兄弟姉妹がいると、お迎えが下の学年なので、上の子のクラスの先生とお話しできなくなるのが残念だった。

(3) 専門性

保育の専門家として、手紙や面談を通して保育内容、発達についての的確にお伝えできているかどうかについて。

子どもの成長が感じられるお便りや発達段階に応じた対応などを教えてもらい、とても助かった。もう少し、積極的に話をしてほしいと思うことがある。コロナ禍で迎えた入園だったので不安も大きく、もう少し子どもの様子を詳しく知りたかった。

(4) トラブル等事故対応

トラブルや事故などがあったとき、適切な対応（迅速なご連絡、状況説明など）ができているかどうか。

小さなことでも連絡、報告をしてくれるので、安心して子どもを預けられる。まだ、本人が説明することが難しいので、着替えをしていたり、いつもと違う状況で帰宅したときなどは、何があったのか知らせてくれると安心する。

(5) 保育事務

クラスカードのご連絡の対応をはじめ、事務的なことについて、スムーズで、正確な対応ができてきているかどうか。

問題なくできている。突然の連絡にも対応してくれた。

その時々によって、スムーズであったり、問い合わせはじめてわかったりすることがある。

(6) 改善点など

新入児の親にとっては、分かりづらい行事の内容があった。

バス乗降中を含め、災害避難先一覧があればいいと思う。

2 総評

総じて、保育者として丁寧な対応ができており、子ども一人ひとりを大切に思う気持ちが伝わっていることがわかった。さまざまな意見を通して、保育者には、保護者との積極的なコミュニケーション能力が必要であることもわかった。これは、新人保育者が特に苦手とする分野であり、それを意識化して、克服していくことが課題として浮かび上がった。一人の努力に帰するのではなく、そのための、組織的取り組みも求められる。

また、お便り等について、慣例的に流していることが、新しい方々にとって分かりづらさを生んでいることがわかり、改善していきたい。バス乗降中等を含む、災害避難先一覧についても検討していく。